

学力向上通信



岡山市立菅根小学校 No.3 R3.9.16

音読の効果について

いつも音読の宿題を聞いてくださり、ありがとうございます。音読は、保護者の皆様も子どもの頃、経験されたことがある宿題ではないでしょうか。音読は、学力向上に効果的であると言われているため、今も昔も変わらず宿題に出されています。では、どんな効果があるのでしょうか。

1 記憶力の向上

音読を行うことで、記憶や思考、判断などをつかさどる脳の前頭前野が活性化され、記憶力が向上するといわれています。そのため、宿題のはじめに取り入れると効果的と言われています。宿題の終わりに取り組む方が多いと思いますが、時には、宿題の取り掛かりに音読をやってみるのもおすすめです。

2 語彙力・読解力の向上

声に出して読むには、漢字の読み方や単語の意味、文の切れ目などを考えながら読まないといけないため、自然と文章の構造などを考えるようになります。また、文章を目で追い、声に出し、自分の耳で聞くことで、視覚と聴覚の両方が刺激され、文章の理解が進みます。このような積み重ねで、読解力が積み上がっていきます。

子どもたちは、音読の回数を重ねると、すぐに覚え、文字を目で追わなくなる人も多いです。しかし、文字を目で追うことはとても重要です。お子様が文字を目で追っているか、時々、確認してみてください。

3 黙読が速くなる。

音読は、最初は間違えながらも、続けることで、日本語のリズムに慣れ、言葉の意味が分かるようになり、だんだんすらすら読めるようになってきます。内容をおさえながらも読むスピードを速くすることができるようになると、黙読でも効果が発揮できるようになります。そして、黙読が速くなると、文章理解も進みます。

4 学習意欲が高まる

ドイツの心理学者が発見した「作業興奮」という作用で、はじめは気乗りせず、興味のないような作業でもやっているうちにやる気が出てきます。勉強へのモチベーションが上がらないというときには、音読をとっかかりに学習をスタートさせるのがおすすめです。

5 ストレス軽減効果

音読で脳の前頭前野が刺激され、セロトニンが分泌されることで、リラックスすることができます。感情のコントロールにもよいと言われています。

6 コミュニケーション能力の向上

音読をすることで、発語に慣れて活舌がよくなります。また、相手に伝わりやすい話し方を意識して、声のボリュームやトーンを工夫したり、スピードを調整したりすることで、コミュニケーション能力の向上にもつながります。

(音読の効果をさらにあげるためには)

- ①つかえたり、読み間違えたりしても叱らない。
- ②すぐに感想を伝える…「大きな声で読めたね。」「ていねいに読めたね。」「聞き取りやすいスピードだったよ。」など何がよかったか伝えてみてください。そして、時には、「このせりふをゆっくり読んだのはなぜ?」など質問すると、子どもが自分の音読を振り返ることができ、効果的です。
- ③無理をさせない…読むのが苦手な子どもにとっては、音読の宿題に気が進まない人も多いです。出された宿題のページをすべて読むことがもちろん理想ですが、難しい日もありますね。そんなときは、「この場面まではがんばろう」と場面を区切り、少しずつ読む量を増やしていきましょう。

夏休みにがんばってくれた自主学习を紹介します。

① かん字うたをかこう。
 ② 友入のおかあさん。ははの友
 書しやのじかん。書さそめ正しく
 書けるがな。③はる風はたい風
 みたいにつよいんだ。④紙ふぶ
 さいる人ないの。紙がまう⑤
 大行れつ。なにかとおるか。行っ
 てみる。⑥元気たね。ほめられて
 もっと元気が出る。言いわすれ
 大じな言ばを。わすれた。⑧さわ
 うしつに。ひびさわ。たるとよ
 らい声のうさぎです。⑩でん話で
 ね。おばあちゃん。と。話したよ
 ⑪夕方にけんを。わすれず。月見え
 る。⑫点まの点。⑬青空に。ひこう
 で。百ぐもの。白線。⑭画ようしに
 さ。な。の。けい。画。書。いて。みる。⑮
 さ。ん。数。で。百。まで。み。ん。な。で。教。え。
 う。ご。あい。さつ。⑯字。を。ま。ち。が。え。ない

① パーフェクト夏のおずかしかった。
 をやろう。
 まださんたちは460円をちょきん
 しました。ち、金ばこの中のお金
 について話しています。四角にまて
 はまる数を書きましょう。
 100円玉4枚と40円玉2枚
 100円玉が4まい 100円玉が4まい
 10円玉が8まい 50円玉が1まい
 入っているよ。 100円玉が1まい
 入っているよ。
 100円玉2まい、50円玉が8まい
 10円玉が26まい 入っているよ。
 お入っているよ。
 ぬいさんそ480円をちょきんすること
 になりました。
 10円玉だけでちょきんすると何まい
 いらいますか。(46まい)
 ② 文はうきまのかがおずかしかった。

① 夏空の文豪をかこう。
 葉...言葉でみんなとかい話し、
 ルールをきめた。
 使...天使の羽でおお空にまい手
 紙をとどけた。
 表...算数の問題を表にまとめて
 発表する。
 所...台所に煎理をしにいき、2
 時間もかけて作った。
 起...学校で発表するとき、起
 止して、発表する。
 面...一面に花がさきおはなみ
 した。
 向...この道の向こうには、おも
 いでの場所。

① 森に虫さかしにい、たろめ
 水グらしい緑色の虫が見れた。
 感わたしの家にはとても感心な
 心こがいます。
 豆わたしの家には豆つぶみだい
 なら、ちやな虫がいます。
 木素むすめをおうの様子をうかが
 っ。
 牛この国にはり、ばな人物がい
 る。
 山ぼくたちは、むこう岸を見て
 みるとひろいせかいが広がてい
 る。
 食館ぼくは、お金がないので古い
 館にすんでいる。
 ② きれいにかけてうれしかった。

① ふうす(天気)をあらわす言は
 んあつめよう。
 ようすをあらわす言は
 (雲) ぐもくもく 白い ふあふあ
 (かみ風) ふちふち
 ゴロゴロ ピカッ ドシャン
 ビリビリ
 (雨) ポツポツ ザー ぴとん
 つめたい
 (風) コーヨー ビュー
 (太よう) メラメラ ポー ギラキラ
 あつい
 (雪) 白い ギクギク つめたい
 ② ふうす(天気)をあらわすこと
 はががけました。

① ひがたの鳥をかんさつしよう。
 (コサギ) (アオサギ)
 小さめのジ 日本や最大
 ラサギで、級ノサギ。
 黒いくちは 灰色の体が
 しとぎ色川とくちよう。
 あしゆがが [陸ググシギ]
 とくちよう。下向きに大
 (シネコ) きくくちは
 とばとおたしが曲が、
 黒いおががでいる。
 みえる。ネ (ネ) 毛
 コのように さかき さかき丸のみいて
 「ニヤア」 さかな 上からねらをつけていた。
 となきます さかな 水の中の水草をといた
 (白チドリ) コガイ ねらさき回っていた。
 目の周りの カニ とめの中はしをさきで
 黄色いそよ 水の中はしをさきで
 うがとくち (ま) とりでもたべるもの
 ちがう。

